

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

弥生 月次祭挨拶

サルートン、皆様こんにちは
本日は弥生月次祭と尾張戸
神社遙拝祭にご参拝して頂き
誠にありがとうございます。

三月に入り気温も上昇し春
の気配が感じられるようにな
ってきましたが、近年では東
京辺りでも雪が降る異常気象
になっています。

三月三日の亀岡万祥殿月次
祭後に、農業センター跡地が
教主様ご命名で綾織平と発表
されました。

三月二日、東海サミットが
静岡分苑主催で掛川市のつま
恋リゾート彩の郷で開催され
ました。今回の大きなテーマ
では二月にお話を致しました、
お香良洲神社の敷地内に、大
本として石碑が建立されます。
皆神山記念祭典が、六月十六
日に教主様ご臨席で執行され
ます。

令和五・六・七の年にこの

東海教区では、三河本苑五十
周年記念祭典・静岡分苑設立
記念祭典・お香良洲神社中遷
座祭と、お忙しい御公務の中
で、教主様のご臨席には、あ
りがたく感無量となります。

お香良洲神社石碑建立の見
積は、当初は、三百五十万円
位でしたが、石材の高騰等で、
五百万円になりました。東海
教区として信者数の割合で、
名古屋分苑は六十万円の負担
金を受けることになりました。

前回平成三十年三月のノリ
タケの森でのお作品展では百
万円の負担金を一世帯一万円
の賛助金で皆様のご厚意で無
事お作品展は成功いたしました。
た。

お香良洲神社は、開祖様の
御神霊、稚姫君命(稚日女命)
の祀られている大本とはゆか
りある神社です。是非とも皆
様の暖かいご厚意で石碑建立

にご協力をお願いいたします。

分苑世帯数は百五十世帯あ
りますので世帯数で割れば一
世帯四千円位です。一世帯で
も多くの方達にご賛同いただ
き、真心で献金を達成させて
頂きたいと思っております。

石碑は末代、香良洲に建立
されます。石碑の石の形等は、
後ろの掲示板に貼ってありま
す。字画は教主様のご染筆で
彫り刻まれます。

皆神山記念祭典が、六月十
六日に教主様ご臨席で執行さ
れます。斎主は、成尾祭務部
長、祭員と伶人は東海教区の
方達で行われます。

東海教区での参拝者を百人
募集されており、四月・五月
号には、機関誌で全国の方達
に募集案内を出されます。

皆神山記念祭典が、名古屋
分苑月次祭と日にちが重なる
ため六月の月次祭を一週間ず
らして、六月二十三日、第四
日曜日に変更いたします。

併せて総代会も同じく二十
三日に行いますので宜しくお
願いいたします。

春の大祭には前田特派にお
越し頂いて、綾の郷記念事業
・お香良洲神社石碑建立の意
義・皆神山記念祭典等の講話
をしいて頂く事となっております。
す。

直会後に機関長会議を行い、
その後、春季大祭打ち合わせ
を行います。大祭が一か月後
となりましたので、宜しくお
願いいたします。

全国的に花粉症と、はしか
が流行しています。健康には
気を付けてお過ごし下さい。
本日のご参拝誠にありがと
うございました。

コーランダンコン

行事報告

●月始祭

三月二日(土)



参拝者 十七名

斎主 見田すみ子

祭員 五十川松子

祭員 畠山 亜美

進行 森 悦子

今月は「お雛様の月」に因
んで女性の祭員・進行で執行
された。

●第二十六回 東海サミット
三月二日・三日(土・日)
に静岡分苑の主催により、つ
ま恋リゾート彩の郷を会場に
開催された。

午後一時から、谷田新樹・
静岡分苑長の開会宣言、野田
篤文・教区総代の挨拶に続き、
前田茂太特派の基調講話「ワ
カヒメギミノミコト」を聴講
した。



休憩後、五班に分かれての分科会で活発な意見交換が行われた。夕食後は有志による懇親会が開かれ、楽しい時を過ごした。

二日目は午前九時から、各グループ代表者が分科会のおよめを発表し、引き続き前田特派の総評をいただいた。



分科会まとめ発表(堀特任)

休憩後、「香良洲神社記念碑建立」「皆神山大本三大教主平和祈願七十周年記念大祭」などについての連絡会があり、午前十二時に閉会となった。昼食後、午後三時まで特任宣伝使研修会が開催された。

参加者 五十八名
(名古屋分苑九名)

●月次祭・尾張戸神社遙拝祭
三月十七日(日)

- 参拝者 四十二名
 - 齋主 瓜生 秀明
 - 祭員 堀 健太郎
 - 祭員 日比 達朗
 - 祭員 青山 将士
 - 裏方 畠山 茂
 - 裏方 菱川 義英
 - 典礼長 小林 清人
 - 伶人 飯田 直美
 - 伶人 岡田 幸子
 - 伶人 長谷川 美枝
 - 伶人 伊藤 恵美子
 - 進行 伊藤 久仁男
- 祭典後、機関長会議が開催され「令和五年度決算報告」「お香良洲神社記念碑建立」「東海教区葬祭支援」などについて話し合われた。



行事予定

四月二十一日(日)

春季大祭・祖霊合同慰霊祭

午前十時より

四月二十七日・二十八日(土・日)

分苑誠心会 綾部献勞奉仕

五月四日(土)

月始祭・みろく大祭遙拝祭

午後一時半より

忍び草

神ノ倉分所

宣伝使 木村多宏 毘古

享年 八十八歳

令和六年二月二十五日 帰幽

謹んで哀悼の意を表します

じいじの道草雑話

【テレビ番組】

特任宣伝使 妹尾正治

耳と目が遠くなり、近いのはトイレとあの世となった今日この頃、ご機嫌麗しくない日々が続きます。

テレビをつけても、何が面白いのやら向こうでは笑っていても見る側はしかめっ面(耳が遠いだけ?)面白くないのでチャンネルをクイズ番組にしてみる。

これまた、向こうでおバカな回答をみんなで楽しんでいる。・今度は勉強になるまともなクイズ番組に変える。

歳をとるとこうも負けず嫌いになるものか?電子辞書を片手に調べて、敵?より少しでも早く正解を求めろのだが、ローマ字入力かと思うように出

来ない、やつと打ち終わったと思うと敵はもう答え終わって次の問題にかかっている。悔しいからドラマに切り替える、今度は俳優の名前が出てこない!

「この女優さん、古臭い名前だったよね」「ほら歌舞伎俳優の娘に顔がよく似ていて!」「松本幸四郎の子供で!」「そうそう、松たか子に似た。・ほら古臭い名前の。・」五分経過、やつと木村佳乃が出てきた、奥さんの一声「どこが松たか子に似てるの!ぜんぜん違うが!」

結局、中途からのドラマを見て何もわからない、この無駄な一時間をどうしてくれるの?・

テレビのボリュームは上げる一方で気分は下がるばかり、そろそろ高齢者を容認する時が来たよ。うだ。

